

令和六年度入学者選抜試験問題【一般】

〔国語総合〕

（試験時間：六十分）

《注意事項》

1. 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
2. 問題冊子及び解答用紙には、受験番号を記入する欄があります。それぞれに正しく記入してください。
3. 国語総合（一般）の問題は、全部で34問あります。
4. 解答は、問題番号ごとに解答用紙の各欄に、番号をひとつ記入してください。
5. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明及びページの落丁・乱丁、解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。
6. 試験終了後、全ての配布物を回収します。
問題冊子は左側に、解答用紙は右側に置き、試験監督者の合図があるまで席を立たないでください。

受験番号	
------	--

第1問 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

第六感とは、人間の五感（嗅覚、味覚、触覚、視覚、^aチヨウカク）に続く6番目の感覚といわれているもので、「直感」や「勘」などともいわれます。

皆さんも明確な根拠はないものの、「なんとなくピンと来た」とか、「勘が働いた」という感覚になることがあると思います。第六感とはこういった **A** に物事を察する能力のことです。

消防士や兵士などは強力な第六感を持っているとよくいわれます。過去に何度も繰り返してきた命を脅かす危険な経験に基づいて第六感を働かせ、迅速かつ正確な意思決定や行動ができるというわけです。

私も理由はわからないのですが、たまに頭のなかでアラームが鳴ることがあります。たとえば、何かの契約書にサインするときに「これにサインしていいのかな」という妙な違和感があったのに、それを言語化できなかったので、仕方がなくサインをしてしまう。すると、後々痛い目に遭って、「あー、あのときのアラームはこういうことだったのか」ということが何度かありました。やはり、人間の脳というのは複雑なので、¹感じたことを言語化するまでに時間がかかるときがあるのです。

もちろん、こうした第六感が働くのは悪い場面だけではありません。

ビジネスにおいても、第六感によって^bキュウキョクの仮説にたどり着いた成功者もきつというに違いありません。

第六感と聞くと、「なんか怪しい」「非科学的だ」と考える人も少なくないようですが、実は科学の世界ではこの第六感に関する研究は数多く存在しているのです。

世界の¹叡智が^cシュウケツするプレゼンテーションの場として有名な「TEDカンファレンス」にも^dトウダンしたことがある神経学者のエリック・ヘイゼルティンが、科学誌『Psychology Today』にこんなことを書いています。

X

エリック・ヘイゼルティンは人間の判断能力の複雑さに注目し、脳に記憶されている「²暗黙の学習データ」と呼ばれる膨大なデータの中には、私たちの過去の²経験則や貴重なデータが含まれており、何かをきっかけに偶然それが呼び起こされることがあると説明しています。

そのため、その人が経験した体験の数々や膨大な暗黙の学習データがあればあるほど、第六感的な感覚や直感は研ぎ澄まされていくというのがエリック・ヘイゼルティンの理論のようです。

命の危険を何度も経験してきた消防士や兵士はもちろん、世の中を変えるほどのイノベーションを起こした起業家や^eダイキギョウの経営者などは、この暗黙の学習データによって「この事業は早い段階で^fテツタイしたほうがいいな」とか、「この投資はうまくいく気がする」という言語化できない第六感が働いて意思決定することもあるのです。

私は、こうした感覚は誰もが持っていると考えており、理論的にどうすることもできない意思決定をする際

の大きな武器となり得ると思うのです。

人類の歴史を辿ってみると、私たちの祖先は安全な場所もないような危険な生活を送りながら進化してきました。

食べ物にしても毎日食べられるわけではなく、狩りがうまくいったときにだけ馳走にありつけたわけですから。こうしたきびしい環境下で生き抜いていくために、人類の祖先は日々五感を研ぎ澄ましてきたと考えられています。そうした五感を磨きながら生きていたからこそ手に入れたもの。それが第六感です。

そう考えれば、第六感というのは実は誰もが持ち合わせている能力だということです。ところが、現代を生きる私たちは、この第六感という能力をうまく使いこなせていないのです。それは、何事もなく暮らせる便利な世の中になったことが挙げられます。

安全な家に住み、食べたいときに食べたいものを食べ、大きな危険もなく、情報もネットで簡単に手に入られる。つまり、私たちはこうした快適な暮らしによって少しづつ直感や勘といった感覚を失っていったのです。

ただ、先にも述べたように、私たち現代人にとっても、ときにはこの第六感が必要に迫られるときがあります。

ビジネスの重要な局面であったり、人生を左右する大きな決断であったり、ときに命の危険にさらされたりしたときには、第六感を駆使して仮説を立てて実行しなければならないことがあるからです。

では、どのように第六感を取り戻せばいいのか。

前述したように、第六感を鍛えるためには、まず基礎となる五感を鍛えなければなりません。Bに観察力を磨き、耳を澄ませ、匂いを嗅ぎ、触れてみる、味わってみるなど、五感すべての感覚を研ぎ澄ますトレーニングを日頃から心がけておくことが重要です。五感を研ぎ澄ますことで脳が活性化され、シダイに第六感を鍛えることにつながっていくからです。

第六感を鍛える具体的な方法として私がいつも提唱しているのが、キャンプなどのアウトドア経験をするということです。

近年ではキャンプ人気が高まっています。山へキャンプに出掛ければ、ヤガイでの生活を余儀なくされます。アウトドア生活になれていない人にとっては、日頃の便利な生活とは比べものにならないくらいカクカもしれませんし、計画通りにいかないことのほうが多いはずですよ。

でも、そうした自然のなかには日常生活では味わえないシグキや発見がたくさんあり、それらを五感でフルに感じ取ることで自分のなかに眠っている第六感が磨かれていくのです。

(竹内 薫「AI時代を生き抜くための仮説脳」より)

問1 傍線部 a～j と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(1)～(10)。

- | | | | | |
|---|--------|------|-----------------|-----------------------------------|
| a | チヨウカク | (1) | ① 山のチヨウジョウに着く。 | ② 風邪のチヨウコウが出る。 |
| | | | ③ 裁判をボウチヨウする。 | ④ 鼎 <small>かなえ</small> のケイチヨウを問う。 |
| b | キユウキョク | (2) | ① 不正がキユウダンされる。 | ② 真相をキユウメイする。 |
| | | | ③ キユウリョウが続く景色。 | ④ 少しキユウクツな服を着る。 |
| c | シユウケツ | (3) | ① 彼とはケツエン関係がある。 | ② カンケツに内容を伝える。 |
| | | | ③ 敗北は当然のキケツだろう。 | ④ 交渉がケツレツする。 |
| d | トウダン | (4) | ① 文化遺産にトウロクする。 | ② カポチャをトウジに食べる。 |
| | | | ③ スイカをトウブンに切る。 | ④ 部員をトウソツする。 |
| e | ダイキギョウ | (5) | ① 手腕をハツキする。 | ② 新しいキカクを提案する。 |
| | | | ③ 宇宙から地球にキカンする。 | ④ 福祉の向上にキヨする。 |
| f | テツタイ | (6) | ① タイシユツが可能な本。 | ② 会社のキンタイ表を作る。 |
| | | | ③ 汚れた水がタイリュウする。 | ④ 火事現場からタイキヨする。 |
| g | シダイ | (7) | ① シツジの職に就く。 | ② 番組のシカイをする。 |
| | | | ③ 詳細はジュンジ公開する。 | ④ 条例がシコウされる。 |
| h | ヤガイ | (8) | ① オオヤの許可を得る。 | ② ザイヤの人として活躍する。 |
| | | | ③ 父がヤハンに起き出す。 | ④ 荷物をナヤに入れる。 |
| i | カコク | (9) | ① コクソウ地帯を通る。 | ② 到着するコクゲンだ。 |
| | | | ③ 労働者をコクシする。 | ④ 危険性をケイコクする。 |
| j | シゲキ | (10) | ① ゲキドウの時代を過ごす。 | ② 人波のカンゲキを縫って歩く。 |
| | | | ③ ショウゲキ的な事件。 | ④ ゲキヤクの扱いに注意する。 |

問2 空欄A・Bにあてはまる語の組み合わせとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(11)。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① A 直感的 | B 意識的 | ② A 直感的 | B 作為的 |
| ③ A 感情的 | B 意識的 | ④ A 楽天的 | B 利己的 |

問3 傍線部1「感じたことを言語化する」とあるが、ここではどういうことを指しているか。その説明として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(12)。

- ① 体験や学習したことを脳に記憶し、行動パターンを構築すること。
- ② 今サインをしたら、後々痛い目に遭うという現実まで想像すること。
- ③ 頭の中でアラームが鳴ったときの感覚を、詳細に文字にすること。
- ④ 理論的に説明のつかない違和感を、意思決定や行動に役立てること。

問4 二重傍線部I「叡智」・II「駆使」の意味として最も適当なものを次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(13)・(14)。

- | | | | |
|-------|------|----------------|---------------|
| I 叡智 | (13) | ① 選りすぐりの意見 | ② 深く優れた知性 |
| II 駆使 | (14) | ③ 非凡な特殊な能力 | ④ 熟考された知恵 |
| | | ① 自由自在に使いこなすこと | ② 様々な角度から見ること |
| | | ③ 取り入れて利用すること | ④ 注意を払って扱うこと |

問5 空欄Xにあてはまる内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(15)。

- ① 感覚や直感に頼るだけでは、科学的とは言えない
- ② 感覚や直感を信じていい理由は、科学的にある
- ③ 感覚や直感を非科学的だとするのは、当然である
- ④ 感覚や直感を科学的に説明するのは、ナンセンスだ

問6 傍線部2「経験則」とあるが、これが裏目に出た状況を表す言葉として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(16)。

- | | |
|-----------|---------------|
| ① 窮鼠猫を噛む | ② 株を守りて兎を待つ |
| ③ 虎の威を借る狐 | ④ 鳶に油揚げをさらわれる |

問7 傍線部3「自分のなかに眠っている第六感」とあるが、なぜ「眠っている」のか。その理由として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(17)。

① 大きな危険もなく安全な生活を続けていると、第六感の存在自体を知らない社会が構築され、直感や勘に頼るような行動を慎むようになるから。

② 命の危険を経験してきた消防士や兵士のような人にしか第六感は必要なく、一般の人間は、日頃の生活の中で五感が備わっていれば十分だから。

③ きびしい環境下で生き抜いていた祖先と違い、現代人は何不自由なく便利で快適に暮らせるため、第六感が必要としなくなってしまったから。

④ 第六感実は誰もが持ち合わせている能力だとしても、科学的な理論に基づかないようなものは信用できないと現代人はみなしているから。

問8 本文に書かれている内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(18)。

① 現代人が第六感を働かせ、迅速かつ正確な意思決定や行動をするためには、今の豊かな生活を一切捨てて、厳しい自然環境に身を置くことが重要だ。

② 体験の数々や膨大な暗黙の学習データがあればあるほど、第六感的な感覚や直感は研ぎ澄まされていき、更に第七の感覚が身につくにちがいない。

③ 祖先が危険な生活の中で基礎となる第六感を育み、そこから五感を手に入れてきたように、感覚を鍛えるトレーニングを私たちもおろそかにしてはいけない。

④ 私たち現代人も第六感が必要に迫られるときがあるので、アウトドア体験などで脳を活性化させて五感を研ぎ澄まし、第六感を鍛えておくとうい。

第2問 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

「今どきの若い者はことば遣いがなっていない」と年配者が批判したのは昔の話。現代では、世代を問わず、人々は「ことばの正誤」に敏感になっています。

ために、インターネットの掲示板なり、SNSなりで、「頭が煮詰まって、ゲンコウ^aが書けない」とつぶやいてみましょう。

「その『煮詰まる』は、使い方が間違ってますよ」

¹ たちまち、そんな反応が返ってくるはずですが、「その煮詰まる」で検索すると、実例が多数出てきます。発言者は、年配の人は少なく、若い世代と思われる人が中心です。

^b アワてて言うておくと、実は、この2つの意味は、両方とも戦後になって辞書に載ったものです。どちらが

より古い意味かは、実はよく分かっていません。A、後者を軽々しく「誤用」と批判することはできないのです。

そもそも、ことばには多義性(場合に応じて複数の意味を表す性質)があります。たとえば、「頭に来る」には、「腹が立つ」「気が変になる」などいくつかの意味があります。そのひとつを取り上げて誤用と言う人はいません。同様に、「煮詰まる」の2つの意味のどちらかを誤用とする必要もないのです。

ともあれ、こうした「ことば批判」は(当否はともかく)昔は年配者の役割でした。B、現在では、年配者はあまり掲示板やSNSにはアクセスしません。その代わり、若い世代の人同士が、メディアなどで得た知識を元に、ネット上で「誤用」をシテキシ^cあっています。

² こういう状況は、人々の言語生活上、初めてのことです。

インターネットが普及する以前の社会では、個人のおつぶやきが不特定多数から評価・批判されることは、まずありませんでした。個人の限られたコウサイ^d範囲では、そうむやみにことば遣いをとがめられる^ア、という状況は考えにくいことです。

メディアがまだ「ことばの誤用」をそれほど話題にしなかった頃、年配者は自分の言語感覚に基づいて、若い人のことば遣いに注意を与えていました。特定の語が社会的に「〇〇は誤用」と認定されるケースは少なく、人々のことばには多様性が保たれていました。

ところが、メディアの発達と共に、「〇〇は誤用」という情報が社会的に共有されるようになりました。情報がネットで一気にカクサン^eする時代、年配者でなくても、相手のことばを簡単に「誤用認定」できるようにになりました。しかも、その飛び交う情報の中には、「煮詰まる」の例のように、本当は誤用とは言えないものが多く含まれています。

根拠の必ずしも明らかでない誤用説が、検証を経ないままに信じられ、一人一人の発言を縛ってしまう。人々

の健全な言語生活のために、これは好ましくない状況です。

ことばには「これこれの言い方だけが正しい」ということはありません。少数派の言い方であっても、ある地域・世代などの限られた集団や場面で意思疎通の役に立っているならば、その言い方には立派な存在理由があります。どんなことばでも、一概に否定することはできません。そういう基本的なことが理解されず、ことばが○×に仕分けられるのは憂うべきことです。

ただ、こうした動きに反対する見方も現れています。むやみに人のことばを誤用扱いする人は、ネット上で「日本語警察」と批判されるようになりました(英語ではGrammar Nazi(文法ナチ)などとも言っています)。

この呼び名には、

X

への抗議の気持ちが表れています。

誰しも、あることばに対して、個人的に正誤の判断を行う自由があります。ただ、その価値判断の基準が聞きかじりのネット情報というのでは、何とも心もとない話です。

自分や周囲の人、親などが、これまで普通に使っていたことばを、安易に誤用として捨て去るべきではありません。現在では、過去の文学作品などがネットで簡単に検索できます。実は伝統的な表現だったと、すぐに分かる場合もあります。本当に誤用かどうか、立ち止まって考える慎重さが必要です。

(飯間 浩明「『今どきの若い者』はことば遣いにうるさすぎる」より)

問1 傍線部 a～eと同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(19)～(23)。

- | | | | | | | |
|---|--------|------|---|-------------------|---|-------------------|
| a | ゲン コウ | (19) | ① | 税金の コウ ジョがある。 | ② | ツウ コウ の妨げとなる。 |
| | | | ③ | コウ ダイ な敷地を 売る。 | ④ | 地方紙に キ コウ する。 |
| b | ア ワ てて | (20) | ① | 世界 キョウ コウ が起きる。 | ② | コウ トウ 無稽な話だ。 |
| | | | ③ | 部屋に物が サン ラン している。 | ④ | レンズの シヨウ ウ テン 距離。 |
| c | シ テ キ | (21) | ① | テン テ キ で栄養補給する。 | ② | 彼女に ヒッ テ キ する人物。 |
| | | | ③ | 脱税を テ キ ハツ される。 | ④ | ケイ テ キ が聞こえる。 |
| d | コウ サイ | (22) | ① | コウ オツ つけがたい。 | ② | どら焼きが コウ ブツ だ。 |
| | | | ③ | カイ コウ 部を修理する。 | ④ | ガイ コウ 辞令に聞こえる。 |
| e | カ ク サン | (23) | ① | 外界から カ ク ゼツ される。 | ② | 組織の カ ク ジュウ を図る。 |
| | | | ③ | チ カ ク が大きく変動する。 | ④ | カ ク リョウ が辞任する。 |

問2 傍線部1「たちまち、そんな反応が返ってくる」とあるが、筆者はこれをどのように考えているかの説明として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(24)。

- ① どちらの意味が正しい意味か判断しかねるので、誤用であると軽々しく言うべきではない。
- ② その人自身の言語感覚に基づいて正しい判断をしているかどうかを、明確にすべきである。
- ③ 言語問題については、若い世代だけでなく年配の人が発言できる機会を増やすべきである。
- ④ マスコミは正しいことしか言わないため、そのような反応をするのは仕方無いことだろう。

問3 文中の空白 になっている部分には、次のⅠ～Ⅳの文章が入る。それを正しい

順番に並べたものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(25)。

- Ⅰ マスコミは後者を「誤用」として報道しました。
- Ⅱ 一方、単に「メディアが誤用と言うから誤用だ」と考えている人も多いでしょう。
- Ⅲ 右の「煮詰まる」を誤用と言う人の中には、自分自身の言語感覚に照らしてそう判断した人もいるかもしれません。

Ⅳ 平成25(2013)年度の「国語に関する世論調査」の報告では、「煮詰まる」は「計画が煮詰まった」のように「結論の出る状態になる」の意味が本来とされ、「頭が煮詰まる」のように「考えが働かなくなる」の意味は新しいと位置づけられました。

- ① Ⅱ ↓ Ⅲ ↓ Ⅰ ↓ Ⅳ
- ② Ⅳ ↓ Ⅲ ↓ Ⅱ ↓ Ⅰ
- ③ Ⅲ ↓ Ⅱ ↓ Ⅳ ↓ Ⅰ
- ④ Ⅲ ↓ Ⅰ ↓ Ⅳ ↓ Ⅱ

問4 空欄A・Bにあてはまる語として最も適当なものを次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(26)・(27)。

- | | | | | | |
|---|------|--------|---------|--------|--------|
| A | (26) | ① もしくは | ② したがって | ③ しかし | ④ さらに |
| B | (27) | ① そして | ② ところで | ③ たとえば | ④ ところが |

問5 傍線部2「こういう状況」とあるが、どのような状況か。その説明として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(28)。

① あることばに対して、個人的に正誤の判断を行う自由が認められているのに、年配者の「ことば批判」を認めない状況。

② ネット上で「ことばの正誤」について簡単に調べられるのに、「誤用」のまま言葉を使用しようとする人が多い状況。

③ 昔は年配者の役割だった「ことば批判」が、メディアの発達と共に、若い世代の人同士で行うようになってきている状況。

④ 年配者は掲示板やSNSにあまりアクセスしないため情報から取り残され、独自の言語感覚を持っているという状況。

問6 二重傍線部Ⅰ「不特定多数」・Ⅱ「一概に」の意味として最も適当なものを次からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(29)・(30)。

Ⅰ 不特定多数 (29) ① 特別ではなくありきたりな傾向のものが多数集まっていること

② 確認しようにも特定ができないものが多数集まっていること

③ 方向性が定まっていない性質のものが多数集まっていること

④ 無意識に同じ思想を持っているものが多数集まっていること

Ⅱ 一概に (30) ① 一度きりの検討で ② ひとまとめにして

③ 一個人の考えで ④ ひとつひとつ個別で

問7 波線部ア「られる」と同じ意味で用いられているものとして最も適当なものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(31)。また、その品詞名を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(32)。

(31) ① 街で声をかけられる。 ② 家にお客様が来られる。

③ 妹のことが案じられる。 ④ 短時間で覚えられる。

(32) ① 助詞 ② 助動詞 ③ 副詞 ④ 連体詞

問8 空欄Xにあてはまる内容として最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(33)。

① 少数派の意見を尊重すること ② 若者のことばが乱れていること

③ 権力が一か所に集約されること ④ 正誤を簡単に決めつけること

問9 この文章の展開の仕方について述べたものとして最も適当なものを次から一つ選び、番号で答えなさい。
解答番号は(34)。

① 具体的に述べる部分と、それらを抽象化して論ずる部分を交互に繰り返して提示することで、共感を促している。

② 筆者の失敗談を幾つか示すことで身近な課題として受け止めさせ、読み手を筆者と同様の立場に引き込んでいる。

③ 導入部分で具体例の精査をし、次に筆者の意見とその根拠を述べて、最後に反対意見への独自の論を展開している。

④ 最初に具体的な事例を挙げ、さらに現状を明らかにしていく中で問題を提起し、それを解決する道筋を示している。